

連協の2つの取り組み

— 江戸川区学童保育連絡協議会(連協)は、学童クラブの父母の会と指導員の有志でつくる会です —

できるだけ多くの方に、学童保育のことを知ってもらい、考えてもらいたいと、『ランドセルゆれて』という大阪の学童保育を舞台にした映画の上映に取り組むことにしました。

日時は11月29日(土)夜、会場は東部フレンドホールです。江戸川区の後援も申請中です。

ぜひ多くの保護者や子どもたちに観ていただけるような取り組みを広げていこうと思います。各クラブの父母の会役員の方々、ならびに興味のある方は、ぜひ実行委員会にご参加ください。9月には映画の試写会も行います。

＜映画上映実行委員会＞

日 時・毎月第1木曜日 PM7時～

会 場・船堀区民タワー会議室

そしてもう1つ、学童保育の内容充実を求める署名にも取り組みます。

江戸川区の学童保育は、大きく変わろうとしています。親も子どもも、安心して楽しく通える学童保育をめざして、みんなで力を合わせていきましょう。映画上映とあわせて学童クラブや保育園など多くの方に、協力をお願いしてください。

＜署名の第1次締め切り＞

9月13日(土)

署名の集約・石倉 留里子まで

(西葛西6-28-20-104)

返信してください。



～学童保育を描いた初の映画です～

解説

この映画は、監督に子どもの非行や不登校問題など子どもをめぐる社会問題を映像化され続けている中山節夫監督、脚本に「化粧師(Kewaishi)」で第14回東京国際映画祭の最優秀脚本賞を受賞した横田与志脚本家のコンビで贈る学童保育を舞台にした映画です。

学童保育は、全保護者が働いていたりその子自身が障害を持っていたりして、小学校の放課後に保育を必要とする子ども達が集まる場所です。

様々な家庭環境で育つ子ども達が一つの場所に集まって生活し、共に育つ姿。そして、こっそりとした人間関係を通して社会問題を描くこの映画は、皆さんの心にきつと響くものを残してくれるでしょう。また、学童保育を多くの方に知ってもらい、学童保育を考える時のモデルとなることも確実です。

作品紹介

共働き家庭の子どもにたちとて、学童保育は家庭でも学校でもないもうひとつの育ちの場、学びの場です。そして、それは親たちや指導員たちにとっても同じ。

そこでは、それぞれが体当たりで関わり、日々涙あり笑いありのドラマを紡ぎながら、大切な「居場所」を築いているのです。

映画では、現実に学童保育で過ごす子どもたちとその親たち、そして指導員たちのよりリアルな日常の姿を描くことを通して、多くの人たちに、学童保育の世界を楽しんでもらいたい、考えてもらう機会になればと願うものです。

生きるよこび、勇気、そして笑ひを

ここは大阪のとある学童保育「さつき学童クラブ」。ベテラン指導員の工藤麻衣子(クドセン)は、平井康之(ゴリちゃん)、清水大介(シミセン)らと共に放課後、子ども達が帰ってくるのを待っています。若いシミセンはケン玉の練習に余念がありません。

「ただいま！」

ランドセルを揺らせて子どもたちが帰ってきました。

一輪車乗り、ドッチボール、トランプ、おやつ みんな元気いっぱいです。

そんな明るい子どもたちの表情にも時としてかげりが見えることがあります。学校でのいじめや不登校問題。また長引く不況のなかで精一杯がんばっている親のうしろ姿が子どもを通して透けて見えてくることもあります。

工藤自身もまた二人の子どもを抱える母親です。自分の家庭・子育てと仕事との狭間で悩み、時には揺れ、自信をなくして挫折そうになりながら、今日まで指導員仲間や学童保育の親と子に支えられて何とかやってきたのです。

今、さつき学童のみんなが夢中になっているのは三年のダイキとユウマの二人が校庭のはずれの池でつけてきたトンボのヤゴ(名づけてダイマ)です。ダイマがトンボになる日が待ち遠しく、みんなは心待ちにしています。

そんなある日、さつき学童を大きく揺さぶる事件が起こります。

たくさんの感想が寄せられています。

- あらためて学童保育の大切さ、子どもが育ちあう場であるということが、ひしひしと伝わってきました。心暖まる映画で、とても良かったです。自分の身に置き換えて考えさせられるテーマ。各保護者会ともレクレーション等で皆で一緒に観れたらいいな、と思います。
- 日頃、子どものまわりで起こっている様々な問題がいろいろと内容に盛り込まれていて本当に共感させられた。
- とっても感動しました。子どもたちが生き生きとし、上級生が下級生をかばったり育ちあうことが伝わってきてうれしいです。それを見守る指導員や保護者のつながりに共感しました。ぜひ子どもたちに観てもらいたいです。

スタッフ

監督: 中山節夫

脚本: 横田与志

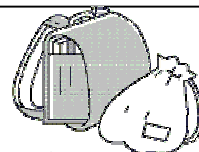
脚本原案: 八田圭子

キャスト: 清水由貴子、倉崎青児、飯泉征貴、左時枝(友情出演)、山辺有紀、渡辺裕之、常田富士男(特別出演)

制作/(有)関西プロデュースセンター

中山映画株式会社

配給/ 広島映画センター



上映日時: 11月29日(土)夜

場所: 東部フレンドホール(瑞江駅)